

9.

M-0053



大日本帝國政府

丙

管理局長

監理課長

事務中

電報譯文

地方待遇職員本官組替ノ台湾總督府地方官官制改正二十四日附公布セラレタル趣旨配慮ヲ深謝ス

台湾總督府 森部總務局長

管理局長殿

(國定規格B5(210×297))

M-0053

0012

九

大日本帝國政府

供
丙

管理局長

監理課長

事務官

電報譯文

地方待遇職員本官組替ノ台湾總督府地方官官制改正二十四日附公布セラレタル趣旨配慮ヲ深謝ス

台湾總督府 森部總務局長

管理局長 殿

(國定規格D5-16×23巻)

M-0053

0013

府政國帝本日

丙 供覽

管理局

監理課長

事務官

電報譯文

地方待遇職員本官組替ノ本府地方官官制中改正ハ
本月二十四日公布セラルタル由申盡力ニ對シ深甚ノ謝意
ヲ表ス

台湾總督府總務局地方課長

管理局長殿

一三九六
タイホク 六七三 一〇一、三〇
コウヂ マチクナイムセウカンリキヨクテウ
チホウタイグ ウシニクインホンカンクミカエノタイワンソウトク
フチホウカンカンセイカイセイニビツ ケコウフゼラレタルオモ
ムギゴ ハイリミラシンシヤスレタイワンソウトクフモリベ
ムキヨクテフ

一三、四七、サ

18.6.26

18.6.26

(國定規格B5×三三三紙)

報 電 4787

送通信過番

送 時 分 者信送

者校照

ヨウスセタホ
コフセラ
コニホクワンクミカエノホンブ
ヨウスセタホ
ヨウスセタホ

カンリカチヨウ
マチクナイムシヨウカンリキヨク

常
タイホク 四八六 コーノ三〇

本文照會中ニ付回信アリ
次協定地知照致候

18.6.26

電監第406号
18.6.26

(郵便部・八・云) 省 信 遞 號 四 第 信



完結

合 議 局 號 及 受 送 月								日 月 年
第 一 號 送 受	第 二 號 送 受	第 三 號 送 受	第 四 號 送 受	第 五 號 送 受	第 六 號 送 受	第 七 號 送 受	第 八 號 送 受	管 理 局 行 正
月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	月 月 日 日	昭 和 十 八 年 三 月 一 日
案 起 昭 和 十 八 年 三 月 一 日 主 任								管 理 局 長 監 理 課 長
案 第 二 部 長 佐 藤 達 夫 局 長								管 理 局 長 監 理 課 長
台 灣 總 督 府 地 方 官 官 制 中 改 正 ノ 件 台 灣 二 於 ケル 地 方 待 遇 職 員 本 官 上 添 ス								管 理 局 長 監 理 課 長

丙

施 行 月 日

規 格 15

M-0053

00 15



日	第
第	第
號	號
送	送
受	受
月	月
日	日

第ノ為量ニ台湾總督府地方官官制中政
 正ノ件請議致置キタル之ノ關係條文
 及第二條ノ一及第三十三條ノ一ニ關シテハ州
 庁員担職員ヲ市郡ニ配置スル等ノ件
 要ニ有之ニ加配置ニ融通性アリタル為
 別紙案第四十五條ノ一ノ如ク州庁市郡

M-0053



80

80

通じタル規定ト致度ニ付右可然中配意相煩度
此段及中後頼候

（お披露目）

大日本帝國政府

（新上り規定規格 51 x 21 x 2.5mm）

M-0053



別紙

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ邊改正ス

第二條第一項中「森林主事 專任八十五人 判任」ノ次ニ「河川
監視 專任二十九人 判任」ヲ加フ

第四條中「第二條」ノ下ニ「及第四十五條ノ二」ヲ加フ

第二十五條ノ二 河川監視ハ上官ノ指揮ヲ承ケ河川及其ノ附屬物
ノ取締及保護ニ從事ス

第二十七條ノ二ヲ削ル

第四十一條ノ二 市ノ地方理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第四十五條ノ二 第二條及第三十三條ノ定員外ニ於テ州縣市ニ通
シテ地方理事官專任二十二人以上及地方技師專任六十一人以上

並ニ州縣縣市ニ通シテ職又ハ技師專任八百二十七人以上ノ置ク
コトヲ得

前項職員ノ各州及各縣ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各部各市ニ於

ケル定員ハ知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十五條ノ二ノ規定ニ依リ増置スル州縣縣市ノ職員ノ俸給、請
給及經費ハ各分ノ内州廳又ハ市ノ管轄トス

臺灣地方得過職員令、臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令、
臺灣總督府州及廳河川監視服制ハ之ヲ廢止ス

內 務 省

規 格 第 4

M-0053



運 使

飯沼地方待選職員令ニ依ル地方待選職員及従来列任官待選タリシ
河州監廳ヲ夫々本官ニ改ムルノ要アリニ依ル

内務省

原 稿 第 4

M-0053

0020

送 長 及 職 局 議 合 日 月 付 受 及

第	第	第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號	號	號
送	送	送	送	送	送	送	送
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日

案 起 昭 和 十 八 年 三 月 九 日 局 受 取 書 第 一 四 號

決 判 日 文 書 課 長

施 行 昭 和 十 八 年 三 月 廿 日

主 査 監 理 課 長

管 理 局 長

人 事 課 長

文 書 課 長

大 臣 閣 下 次 官

請 議 案

臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

臺灣ニ於ケル地方官ノ官名ヲ改ムルト共ニ
地方待遇職員等ヲ本官ト爲スノ要アルニ

M-0053

0021

日	月	第
號	號	號
送受	送受	送受
月	月	月
日	日	日

依り臺灣總督府地方官官制中改正ノ外
要ヲ認メ仍テ別紙勅令案ヲ提出ス
右内議ヲ請フ

昭和十八年 月 日

内務大臣

内閣總理大臣 宛

Vertical lines for document content

二十四日公布
別紙ノ通
活新局修訂
公布

朕臺灣總督府地方官官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年六月二十三日

内閣總理大臣

内務大臣

勅令第五二四號

内務省

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第二條第一項中 事務官 十五人 兼任 十部長

地方理事官 兼任 十五人 兼任 十部長

事務官 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

主任 十五人 兼任 十部長

附録



第三條中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム	第十四條中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム	第十五條中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム	第二十五條ノ二 河川監視ハ上官ノ指揮ヲ承ケ河川及其ノ附屬物ノ取締及保護ニ從事ス	第二十七條ノ二ヲ削ル	第三十一條第二項中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム	第三十二條 州及花蓮港廳ニ市及郡ヲ、臺東廳ニ郡ヲ置ク 市ノ數ハ一一、郡ノ數ハ五十一トス	市及郡ノ名稱、位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム 第三十三條 市及郡ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク 市長 十一人 市及郡ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク 郡守 五十一人	助役
------------------------	-------------------------	-------------------------	---	------------	-----------------------------	--	--	----

内務省

第 四 十 四 號

地方事務官	十二人	奏任
地方技師	專任一人	奏任
視學	專任六十二人	判任
屬	專任五百二十人	判任
技手	專任百二十二人	判任
前項職員中市長、助役及地方技師ハ市ニ、郡守ハ郡ニ之ヲ置ク 助役ハ地方事務官ヲ以テ之ニ充ツ		
地方技師及判任官ノ各州及各縣ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各市及 各部ニ於ケル定員ハ知事又ハ廳長之ヲ定ム		
臺灣總督ハ州又ハ廳ノ地方警視、警部、警部補又ハ巡查ヲ郡ニ配 置スルコトヲ得		
第三十三條ノ二 前條ノ定員外ニ於テ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコ トヲ得		
地方事務官	專任七人以内	奏任
地方技師	專任十三人以内	奏任
屬	專任六十九人以内	判任
技手		
前項ノ職員ノ各州及各縣ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各市ニ於ケル 定員ハ知事之ヲ定ム		

内務省

第三十五條中「郡及市」ヲ「市及郡」ニ改ム
第三十六條、第三十七條及第三十九條中「郡守又ハ市長」ヲ「市長」ニ改ム

圖表 56



又ハ郡守トニ改ム
 專任ニ十二人以内ノ人員ヲ充テ郡守トシテ一人以テ之ヲ州府郡市ニ遣ヒテ又ハ
 第一條ノ規定ニ依リ増置スル州縣又ハ市ノ
 職員ノ俸給、諸給及廳費ハ當分ノ内州縣又ハ市ノ負擔トス
 本令施行ノ際現ニ臺灣總督府ノ州事務官、市長タル地方理事官、郡
 守タル地方理事官又ハ市長若ハ郡守以外ノ地方理事官ノ職ニ在ル者
 別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ夫々臺灣總督府ノ州部長、市長、郡
 守又ハ地方事務官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス
 前項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ゲズ
 臺灣地方待遇職員令、臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令、臺
 灣總督府州及廳河川監視服制ハ之ヲ廢止ス

附 則
 (一) 本令施行ノ期ニ至ルニ至リテ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ二又ハ第三十三條ノ二ノ規定ニ依リ増置スル州縣又ハ市ノ

内 務 省

別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ夫々臺灣總督府ノ州部長、市長、郡
 守又ハ地方事務官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス
 前項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ゲズ
 臺灣地方待遇職員令、臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令、臺
 灣總督府州及廳河川監視服制ハ之ヲ廢止ス

規格 B4

理由

臺灣地方待遇職員令ニ依ル地方待遇職員及從來判任官待遇タリシ河川監視ヲ夫々本官ニ、州事務官ヲ州部長ニ、市長及郡守以外ノ地方理事官ヲ地方事務官ニ改ムルト共ニ市長及郡守ヲ官名ト爲スノ要アルニ依ル

内務省

54 54

M-0053



別紙

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第二條第一項中「森林主事」專任八十五人 判任」ノ次ニ「河川監視

專任二十九人 判任」ヲ加フ

第二十五條ノ二 河川監視ハ上官ノ指揮ヲ承ケ河川及其ノ附屬物ノ改

締及保護ニ從事ス

第二十七條ノ二ヲ削ル

第三十三條第三項中「地方理事官」ヲ「第一項ノ地方理事官」ニ改ム

第三十五條中「郡及市」ヲ「第三十三條」ニ改ム

第五十五條 第二條及第三十三條ノ定員外ニ於テ州廳市ニ通シテ地方

理事官專任二十二人以上及地方技師專任六十一人以上以内ヲ、州廳郡市

ニ通シテ屬又ハ技手專任八百二十七人以上以内ヲ置クコトヲ得

市ノ地方理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第一項ノ職員ノ各州及各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各郡及各市ニ

於ケル定員ハ知事又ハ廳長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十五條ノ規定ニ依リ増置スル州廳郡市ノ職員ノ俸給、諸給及廳費

ハ當分ノ内州廳又ハ市ノ負擔トス

判任文官特別任用令第六條中「臺灣總督府交通主事」ノ次ニ「臺灣總

督府州及廳河川監視」ヲ加フ

判任官俸給令第十條中「各廳森林主事」ノ次ニ「臺灣總督府州及廳河



川監視一ヲ加フ

臺灣地方待遇職員令、臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令及臺灣總督府州及廳河川監視服制ハ之ヲ廢止ス

理由

臺灣地方待遇職員令ニ依ル地方待遇職員及從來判任官待遇タリシ河川
監視ヲ夫々本官ニ改ムル等ノ要アルニ依ル

M-0053

0030

説 明

内地ニ於ケル行政簡素化實施ノ爲ニスル地方官官制ノ改正並ニ地方待遇職員ニ關スル措置ニ順應シ臺灣ニ於テモ州事務官ヲ州部長ニ改メ別途高等官官等俸給令ノ改正ニ依リ市長タル地方理事官ノ官等俸給ヲ昇格スルニ伴ヒ地方理事官ノ中市長及郡守ヲ官名トシ爾餘ノ州廳及市(助役)ノ地方理事官ハ之ヲ地方事務官ニ改ムルト共ニ臺灣地方待遇職員令ニ依ル地方待遇職員及從來担任待遇タリシ河川監視ヲ夫々本官ニ改メントス

(参照)

臺灣總督府地方官官制抄

第二條 州及廳ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク

事務官 十五人 兼任

地方理事官 兼任四十五人 兼任

森林主事 兼任八十五人 兼任

前項職員ノ中知事、事務官及地方技師ハ州ニ、廳長ハ廳ニ之ヲ置ク

第三條 地方理事官、地方視學官、地方警視、地方技師及判任官ノ各州及

各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

第四條 大正九年勅令第百六十二號第一條ノ規定ニ依リ俸給最低額以下

ヲ受ケル地方技師及判任官俸給令第六條ノ規定ニ依リ俸給最低額以下ヲ

受ケル技師ハ第二條ノ定員ノ外トス

第九條 知事又ハ廳長ハ郡守、市長又ハ警察署長ノ為ス處分ニシテ戒規ニ

違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ處分ヲ取消

シ又ハ停止スルコトヲ得

澎湖廳長ハ街庄長ノ為ス處分ニ付テハ前項ノ例ニ依リ之ヲ取消シ又ハ停

止スルコトヲ得

第十條 知事事故アルトキハ官等ノ順序ニ從ヒ事務官其ノ職務ヲ代理ス

廳長事故アルトキハ官等ノ順序ニ從ヒ應在勤ノ地方理事官又ハ地方警視
其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 知事ハ廳長ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡守、市長又ハ警
察署長ニ委任スルコトヲ得

第十二條 事務官ハ總務部、産業部又ハ警察部ノ部長ト爲ル知事ノ命ヲ承
ケ部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

第十五條 地方理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第二十七條ノニ 州及廳ニハ通シテ河川監視二十九人以内ヲ置ク判任官ノ
待遇トス

河川監視ハ上官ノ指揮ヲ承ケ河川及其ノ附屬物ノ取締及保護ニ從事ス
河川監視ニ關スル規程ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十一條 第一項略

稅務出張所長ハ地方理事官又ハ屬ヲ以テ之ニ充ツ

第三十二條 卅及花蓮港廳ニ郡及市ヲ、臺東廳ニ郡ヲ置ク

郡ノ數ハ五十一、市ノ數ハ十一トス

郡及市ノ名稱、位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十三條 郡及市ニハ左ノ職員ヲ置ク

郡守

市長

助役

地方理事官

地方技師

七十四人

專任一人

委任

委任



視學 專任六十二人 兼任
屬 專任五百二十人 兼任
技手 專任百二十二人 兼任

前項職員ノ中副守ハ郡ニ、市長、助役及地方技師ハ市ニ之ヲ置ク

郡守、市長及助役ハ地方理事官ヲ以テ之ニ充ツ

臺北市長タル地方理事官ハ勅任ト爲スコトヲ得

地方技師及判任官ノ各州及各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督各郡及各市ニ於

ケル定員ハ知事又ハ廳長之ヲ定ム

臺灣總督ハ州又ハ廳ノ地方警視、警部、警部補又ハ巡查ヲ郡ニ配置スル

コトヲ得

第三十五條 第四條ノ規定ハ郡及市ノ地方技師及技手ノ定員ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 郡守又ハ市長ハ知事又ハ廳長ノ指揮監督ヲ承ケ法令ヲ執行シ

部内ノ行政事務ヲ掌理シ所部ノ官吏ヲ指揮監督ス

第二項畧

第三十七條 郡守又ハ市長ハ其ノ指揮監督スル判任官ノ進退ヲ知事又ハ廳

長ニ具狀ス

第三十九條 郡守又ハ市長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル官吏ハ知事

又ハ官吏ハ知事又ハ廳長之ヲ指定ス

郡守又ハ市長ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ部下ノ官吏ヲシテ臨時代

理セシムルコトヲ得

第四十條 郡又ハ市ニ於ケル事務分掌ハ知事又ハ廳長之ヲ定ム

第四十三條 郡又ハ市ノ視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察其ノ他教育ニ

關スル事務ニ従事ス

第四十四條 郡又ハ市ノ屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四十五條 郡又ハ市ノ技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

(参照)

大正九年勅令第二百六十二號(教官及技術官ノ俸給ニ關スル件)抄

第一條 教官ノ俸給ハ其ノ學科目ノ種類又ハ授業時間ノ多少ニ依リ、技術官ノ俸給ハ各職事務ノ繁閑ニ依リ其ノ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

(参照)

臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令 昭和一二勅五四三

第一條 臺灣總督府州及廳河川監視ノ待遇相當等級ハ判任官三等以下トシ

文武判任官等級區分ノ例ニ依ル

第二條 河川監視ノ月俸ハ二十五圓乃至八十圓トス

第三條 朝鮮、臺灣、滿洲、樺太及南洋群島在勤文官加俸令ハ河川監視ニ

之ヲ準用ス

第四條 河川監視ニハ被服及屬具ヲ給與又ハ貸與ス但シ必要アル場合ニ於

テハ給與品ノ全部又ハ一部ヲ代料ヲ以テ支給スルコトヲ得

第五條 俸給ノ支給ニ關シテハ判任官俸給支給ノ例ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府州及廳河川監視服制

昭和一二勅五四七

臺灣總督府州及廳河川監視服制列表ノ通定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依ル服制ハ本令施行ノ日ヨリ三月以内ニ限り之ヲ用ヒタルコト得

(別表) 略



(参照)

臺灣地方特選職員令

(大正四〇六九)

第一條 地方産業ニ關スル事務又ハ技術ニ従事セシムル爲州廳費、又ハ市

費ヲ以テ各州、廳又ハ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

産業主事

專任八人以内

奏任官待遇

産業書記

專任五十四人以内

判任官待遇

技術職員

産業技師

專任三十一人以内

奏任官待遇

産業技手

專任三百六十人以内 判任官待遇

第二條 地方土木ニ關スル事務又ハ技術ニ従事セシムル爲州廳費、又ハ市

費ヲ以テ各州、廳又ハ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

土木書記

專任二十人以内

判任官待遇

技術職員

土木技師

專任十五人以内

奏任官待遇

土木技手

專任七十六人以内 判任官待遇

第三條 地方衛生ニ關スル事務又ハ技術ニ従事セシムル爲州廳費、又ハ市

費ヲ以テ各州、廳又ハ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

衛生書記

專任十四人以内

判任官待遇

技術職員



衛生技師

專任十人以内

奏任官待遇

衛生技師

專任七十人以内

判任官待遇

第四條 地方ニ於ケル物産検査ニ關スル事務ニ従事セシムル爲州廳費ヲ以テ各州又ハ廳ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

物産検査員

專任九十八人以内

判任官待遇

第四條ノニ 地方社會事業ニ關スル事務ニ従事セシムル爲州廳費、又ハ市費ヲ以テ各州、廳又ハ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

社會事業主事

專任七人以内

奏任官待遇

社會事業書記

專任十九人以内

判任官待遇

第四條ノ三 地方社會教育ニ關スル事務ニ従事セシムル爲州廳費、又ハ市

費ヲ以テ各州、廳又ハ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

社會教育主事

專任七人以内

奏任官待遇

社會教育書記

專任四十八人以内

判任官待遇

第四條ノ四 地方ニ於ケル建築ニ關スル事務又ハ技術ニ従事セシムル爲州廳費ヲ以テ各州又ハ廳ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

事務職員

建築書記

專任五人以内

判任官待遇

技術職員

建築技師

專任五人以内

奏任官待遇

建築技師

專任五十八人以内

判任官待遇

第五條 前七條ノ職員ノ各州、各廳及各市、定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

第六條 第七條ニ於テ準用スル地方待遇職員令第九條但書ノ規定ニ依リ俸給ヲ受ケスヌハ最低金額ヨリ低キ俸給ヲ受クル第一條乃至第四條ノ四ノ職員ニシテ他ノ職務ニ従事スル者ノ員數ハ主トシテ従事スル事務又ハ技術ノ職員ノ定員ノ内トシ其ノ他ノ職員ノ定員ノ外トス

第七條 第一條乃至第四條ノ四ノ職員ノ服務ニ關シテハ官吏服務規程ヲ準用シ其ノ任免、待遇、俸給及休職ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外地方待遇職員令ヲ準用ス

第八條 前條ニ於テ準用スル地方待遇職員令第二條乃至第五條ノ規定ノ適用ニ付テハ臺灣教育令ニ依リ專門學校ハ之ヲ專門學校又ハ實業專門學校、臺灣教育令ニ依リ實業學校ハ之ヲ實業學校ト看做ス

第九條 朝鮮臺灣滿洲樺太及南洋群島在勤文官加俸令ハ第一條乃至第四條ノ四ノ職員ニ之ヲ準用ス

第十條 第一條乃至第四條ノ四ノ職員ノ給與ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外臺灣總督之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年勅令第三百七十號ハ之ヲ廢止ス

(参照)

地方待置職員令(抄) (大正四九八)

第十一條 待遇職員ニハ休職ヲ命スルコトヲ得

休職ノ期間ハ一年トシ其ノ期間満了シタルトスハ退職シタルモノトス

休職者ニハ俸給ノ三分ノ一ヲ給ス

休職ヲ命セラレタル職員ニハ復職ヲ命スルコトヲ得

休職及復職ノ手續ニ付テハ高等官待遇職員ニ在リテハ高等官ノ例ニ依リ

判任官待遇職員ニ在リテハ判任官ノ例ニ依ル

歲出經常部
第三款地方廳
第一項俸給

第一目	第二目	第三目	第四目	第五目	第六目	第七目	第八目	第九目	第十目	第十一目	第十二目	第十三目	第十四目	第十五目	第十六目	第十七目	第十八目	第十九目	第二十目
事務官	廳長	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官
一五	三	二〇七	八〇八四〇	七四三九二	六四五四八	五三八七六〇	一〇九二〇	四六八〇〇	一四六二五	四六五〇	二四二〇〇	二九二五〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三二二〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇	三六四〇
四六八〇〇	一〇九二〇	五三八七六〇	六四五四八	四六五〇	二四二〇〇	二九二五〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
部	長																		

第一目	第二目	第三目	第四目	第五目	第六目	第七目	第八目	第九目	第十目	第十一目	第十二目	第十三目	第十四目	第十五目	第十六目	第十七目	第十八目	第十九目	第二十目
州廳	廳長	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官	事務官
六二〇	三一九〇	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四
九六〇	三一九〇	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四
六五六六四〇	三一九〇	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四	三三三四四
五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人	五三人

第二項 事務費			
賞	加	本	第七目河川監視俸給
興	俸	俸	三五二五四
			三一
			三〇三四〇
	十分六	天〇〇	四九一四
			〇
五三九四	一一一六〇	一八六〇〇	二七〇〇〇 官制定員 三人行政簡素化

州廳視學	小作官補	警部	州廳技守	通譯	市郡	市郡視學	市郡技守	警部補	稅務吏	港務警官補	港務歌警	港務屬	港吏	船長	機關長
二一	八	二七二	一八七	一一	五三一	六〇	二二六	二二六	六二	三	二	三	九	二	一
九六〇	九六〇	一〇二〇	九六〇	九六〇	九六〇	九六〇	九六〇	七三〇	七三〇	一一二五	一〇二〇	九六〇	九六〇	九六〇	九六〇
二〇一六〇	七六八〇	二二六一八〇	一七七、三四〇	一一五三〇	四四八三三〇	五七六〇〇	二〇、九六〇	一、三三、七三〇	四四、六四〇	三、六四五	二〇四〇	三、八八〇	八、四四〇	一、九二〇	九六〇
一九人州廳視學	州廳屬				五人行政簡素化 五人行政簡素化		四人行政簡素化 三人官制定員								

第14号
1217
内務省

内務省
管第2號
18. 1. 6

總繼第一一三號

勅令改正稟申

臺灣總督府地方官官制中改正ノ件別紙ノ通勅令公布方御詮議相成候様致度理由書相添此段及稟議候也

昭和十七年十二月二十八日

臺灣總督 長谷川



内務大臣事務管理 東條英機 殿

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x267)

昭和十七年四月廿九日

M-0053

0044

昭和十七年度

臺灣總督府地方官官制中改正案

M-0053

0045

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第二條第一項中「事務官 十五人 奏任」ヲ「部長 十

五人 奏任」ニ改メ「森林主事 專任八十五人 判任」ノ次ニ「河

川監視 專任二十九人 判任」ヲ加ヘ同條第二項中「事務官」ヲ「部長」

ニ改ム

第二條ノ二 前條ノ定員外ニ於テ州及廳ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

地方事務官 專任十五人以内 奏任

地方技師 專任四十八人以内 奏任

屬
技手 專任七百五十八人以内 判任

第三條中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム

第四條中「第二條」ノ下ニ「及第三條」ニ「ヲ加フ

第九條中「郡守、市長」ヲ「市長、郡守」ニ改ム

第十條第一項中「事務官」ヲ「部長」ニ、同條第二項中「地方理事官」ヲ

「地方事務官」ニ改ム

第十一條中「郡守、市長」ヲ「市長、郡守」ニ改ム

第十三條 部長ハ知事ノ命ヲ承ケ所部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監

督ス

第十五條中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム

第二十五條ノニ 河川監視ハ上官ノ指授ヲ承ケ河川及長ノ附屬物ノ取締及保護ニ從事ス

第二十七條ノニヲ削ル

第三十一條第二項中「地方理事官」ヲ「地方事務官」ニ改ム

第三十二條 州及花蓮港廳ニ市及郡ハ臺東廳ニ郡ヲ置ク

市ノ數ハ十一、郡ノ數ハ五十一トス

市及郡ノ名稱、位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十三條 市及郡ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク

市長 十一人

奏任 臺北市長タルコトハ得

郡守 五十一人

奏任

助役

地方事務官 十一人

奏任

地方技師 專任一人

奏任

視學 專任六十二人

判任

屬 專任五百二十人

判任

技手 專任百二十二人

判任

前項職員中市長、助役及地方技師ハ市ニ、郡守ハ郡ニ之ヲ置ク

助役ハ地方事務官ヲ以テ之ニ充ツ

地方技師及判任官ノ各州及各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各市及各郡ニ

於ケル定員ハ知事又ハ廳長之ヲ定ム

臺灣總督ハ州又ハ廳ノ地方警視、警部、警部補又ハ巡查ヲ郡ニ配置スル

コトヲ得

第三十三條ノニ 前條ノ定員外ニ於テ市ニ通シテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得

地方事務官 專任七人以内 奏任

地方技師 專任十三人以内 奏任

屬 專任六十九人以内 判任

技手 判任

前項ノ職員ノ各州及廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督、各市ニ於ケル定員ハ知事之ヲ定ム

第三十五條中「郡及市」ヲ「市及郡」ニ改ム

第三十六條、第三十七條及第三十九條中「郡守又ハ市長」ヲ「市長又ハ郡守」ニ改ム

第四十條中「郡又ハ市」ヲ「市又ハ郡」ニ改ム

第四十一條ノニ 市ノ地方事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第四十三條乃至第四十五條中「郡又ハ市」ヲ「市又ハ郡」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ノニ又ハ第三十三條ノニノ規定ニ依リ増置スル州廳又ハ市ノ職員ノ俸給、諸給及廳費ハ當分ノ内州廳又ハ市ノ負擔トス

本令施行ノ際現ニ臺灣總督府ノ州事務官、市長タル地方理事官、郡守タル地方理事官又ハ市長若ハ郡守以外ノ地方理事官ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ夫々臺灣總督府ノ州部長、市長、郡守又ハ地方事務官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

前項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ゲズ

臺灣地方待遇職員令、臺灣總督府州及廳河川監視等級及給與令、臺灣總督
府州及廳河川監視服制ハ之ヲ廢止ス

M-0053

0049

理由

臺灣地方待遇職員令ニ依ル地方待遇職員及從來判任官待遇タリシ河川監視
ヲ夫々本官ニ、州事務官ヲ州部長ニ、市長及郡守以外ノ地方理事官ヲ地方
事務官ニ改ムルト共ニ市長及郡守ヲ官名ト爲スノ要アルニ依ル

參考資料

M-0053

0051

分券

臺灣地方待遇職員定員表 (其一)

職名	州廳費支給	市費支給	計
事務職員(委任待遇)	5	3	8人
産業主事	5	1	6人
社會事業主事	5	2	7人
社會教育主事	5	2	7人
(小計)	15	7	22
技師職員(委任待遇)	3	1	4
農業技師	3	1	4
上水技師	1	0	1
(小計)	4	1	5
計	19	8	27

職名	州廳費支給	市費支給	計
衛生技師	5	5	10
建築技師	5	1	6
(小計)	10	6	16
事務職員(委任待遇)	4	1	5
産業書記	4	1	5
土木書記	1	1	2
衛生書記	1	4	5
社會事業書記	8	1	9
社會教育書記	5	1	6
建築書記	5	1	6
計	47	26	73

M-0053



(小計)	一二九	四六	一七五
技術職員(別任待遇)			
産業技手	三五	九	三六〇
土木技手	六四	二	七六
衛生技手	六八	二	七〇
物産検査員	九八	一	九六
建築技手	四八	一	四八
(小計)	六二九	二三	六五二

(附)

一、地方事務官ト為スモノ

産業主事、社会事業主事、社会教育主事

二、地方技師ト為スモノ

産業技師、土木技師、衛生技師、建築技師

三、屬ト為スモノ

産業書記、土木書記、衛生書記、社会事業書記、
社会教育書記、建築書記

四、技手ト為スモノ

産業技手、土木技手、衛生技手、物産検査員、
建築技手

分券

地方待遇職員及本官新旧對照表

第一條	臺灣現行官制	臺灣改正官制
事務職員	八人	市州 五人 市州 三人
產業之事務	地方事務官	市州 四人 市州 三人
產業書記	五人	市州 一人 市州 一人
技術職員		
產業技師	三人	市州 三人 市州 一人
產業技師	三人	市州 一人 市州 一人
產業技師	三人	市州 一人 市州 一人

第三條	臺灣現行官制	臺灣改正官制
事務職員	二十人	市州 一人 市州 一人
技術職員	五人	市州 七人 市州 八人
土木技師	一人	市州 一人 市州 一人
土木技師	一人	市州 一人 市州 一人
土木技師	一人	市州 一人 市州 一人
衛生書記	一人	市州 一人 市州 一人
技術職員	一人	市州 一人 市州 一人
衛生技師	一人	市州 一人 市州 一人

總括		第四條 / 四		臺灣現行地方行政機關員令
兼任待遇	事務職員	建築技師	建築技師	建築書記
二七五人	二二人	四八人	五人	五人
屬	地方事務官	技師	地方技師	屬
市州廳	市州廳	州廳	州	州
四六人	一三九人	四八人	五人	五人
				臺灣改正官制

第四條 / 三		第四條 / 二		第四條
社會教育書記	社會教育主事	事務職員	社會事業主事	社會事業書記
六三人	七人		七人	一九人
屬	地方事務官		地方事務官	屬
市州廳	市州		市州	市州
一五人	二五人		一八人	二五人
				州廳
				九八人
				市州廳
				六八人

判 任 行 遇	技 術 職 員	六 一 人	六 五 三 人
	地 方 技 師		
市 廳	市 廳	一 三 八 人	六 二 九 人

M-0053

0057

参考

地方待遇職員缺員調（委任待遇1分）

昭和十八年二月十五日現在

計	新 竹 市	湖 北 廳	花 蓮 廳	臺 東 廳	高 雄 州	臺 南 州	臺 中 州	新 竹 州	臺 北 州	州 廳 市 別
										産業主事
										産業技師
										土木技師
										衛生技師
										主 社 會 事 業
										主 社 會 教 育
										建 築 技 師

M-0053

0058

参考

地方費官吏ノ俸給、諸給及廳費負擔額表

(1) 州廳費官吏ノ分

州廳名	人員	俸給		諸給	廳費(一人當)	合計
		俸給(一人當)	判任(一人當)			
臺東	3	1,020.00	43	4,400.00	55	13,890.00
高雄	11	3,740.00	125	12,280.00	136	43,360.00
臺南	12	4,080.00	165	15,840.00	177	45,560.00
臺中	12	4,080.00	141	15,520.00	153	44,600.00
新竹	11	3,740.00	109	10,440.00	120	34,920.00
臺北	11	3,740.00	118	11,320.00	129	35,360.00
合計	63	21,400.00	758	27,760.00	821	89,820.00

市名	人員	俸給		諸給	廳費(一人當)	合計
		俸給(一人當)	判任(一人當)			
臺中	2	6,800.00	5	4,800.00	7	11,600.00
新竹	2	6,800.00	6	5,760.00	8	12,560.00
宜蘭	0		4	3,840.00	4	3,840.00
基隆	1	3,400.00	4	6,680.00	9	10,080.00
臺北	5	17,000.00	9	8,640.00	14	25,640.00
合計	10	34,000.00	28	28,760.00	38	62,760.00

(口) 市費官吏ノ分

市名	人員	俸給		諸給	廳費(一人當)	合計
		俸給(一人當)	判任(一人當)			
臺中	2	6,800.00	5	4,800.00	7	11,600.00
新竹	2	6,800.00	6	5,760.00	8	12,560.00
宜蘭	0		4	3,840.00	4	3,840.00
基隆	1	3,400.00	4	6,680.00	9	10,080.00
臺北	5	17,000.00	9	8,640.00	14	25,640.00
合計	10	34,000.00	28	28,760.00	38	62,760.00



三、總費
 委任判任共一人當一三〇四(定額)トス

區分	旅費(定額)	宿舍料(定額)	臨時勤勉手当(本俸割)	臨時家族手当(平均三人)	恩給所要額(藤恩)	計
判任	三〇〇	二四〇	九〇	一八〇	一五〇	九六〇
委任	四二〇	四八〇	二〇〇	一八〇	二〇〇	一四八〇

二、雜給

區分	本俸(定額)	加給	賞與(本俸割)	計
判任	九〇〇	(六割)	一八〇	一六二〇
委任	二〇〇〇	(五割)	四〇〇	三、四〇〇

一、俸給
 (附)
 算定基礎

計	北 蓮 港	屏 東	高 雄	嘉 義	臺 南	彰 北
20	0	2	4	1	3	0
六八〇〇		六八〇〇	一三六〇〇	三四〇〇	一〇、三〇〇	
69	6	6	7	6	5	7
一一、七八〇	九七二〇	九七二〇	一、三三四〇	九七二〇	八、一〇〇	一一、三四〇
一七、九七八	九七二〇	一六、五二〇	二、四九四〇	一三、一〇〇	一八、三〇〇	一一、三四〇
20	0	2	4	1	3	0
三九、六〇〇		三九、六〇〇	五九、二〇〇	一、四一八〇	四、四四〇	
69	6	6	7	6	5	7
六六、三四〇	五七、六〇〇	五七、六〇〇	六七、二〇〇	五七、六〇〇	四八、〇〇〇	六七、二〇〇
九五、八四〇	五七、六〇〇	八七、二〇〇	一、三、三四〇	六、二四〇	九、二四〇	六七、二〇〇
89	6	6	11	7	6	7
一〇、六八〇	七二〇	九六〇	一三、二〇〇	八、四〇〇	九、六〇〇	八、四〇〇
二八、六三〇	一六、二〇〇	二六、二〇〇	三、八九〇〇	二、一〇〇	二八、五〇〇	一八、九〇〇



券

臺灣總督府訓令第一

臺灣總督府訓令第 号

臺灣總督府地方官官制第二條ノニ、地方事務官、地方技師及州任官ノ各州

及各廳ニ於ケル定員左ノ通定ム

年 月 日

臺灣總督

官	名	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	臺東廳	花蓮港廳	澎湖廳	(計)
地方事務官	三	三	三	三	三	三	三	三	三	(一五)
地方技師	八	八	九	九	八	三	三	三	三	(四八)

官	名	臺北州	新竹州	臺中州	臺南州	高雄州	臺東廳	花蓮港廳	澎湖廳	(計)
廣	二二	一七	二六	二二	二〇	一〇	一〇	二	二	(一二九)
技師	九六	九二	一一五	一四三	一〇五	三三	三五	一〇	一〇	(六三九)

附則

本令ハ 年 月 日ヨリ之ヲ適用ス

分 考

臺灣總督府訓令第一〇二

臺灣總督府訓令第一〇二

臺灣總督府地方官官制第三十三條ノ二第ニ項ノ規定ニ依ル地方事務官、地

方技師及州任官ノ各州及各縣ニ於ケル定員左ノ通定ム

年 月 日

臺灣總督

官 名	地方事務官	地方技師
臺北州	三	三
新竹州	二	二
臺中州	二	二
臺南州	二	二
高雄州	二	四
臺東廳		
花蓮港廳		
澎湖廳		
(計)	(七)	(一三)

官 名	技 師	屬 手
臺北州	四	七
新竹州	四	二
臺中州	八	四
臺南州	八	三
高雄州	八	五
臺東廳		
花蓮港廳	四	二
澎湖廳		
(計)	(四六)	(二三)

附 則

本令ハ 年 月 日ヨリ之ヲ適用ス

参考

國費官吏ト地方費官吏トノ定員比較表
 (1) 地方事務官及地方技師

計	澎湖	花蓮港	臺東	高雄	臺南	臺中	新竹	臺北	州廳名	地方事務官		地方技師	
										(國費)	州廳費	(國費)	州廳費
四五	一	三	二	七	八	八	七	九					
一五													
二七					六	五	六	五					
五													
三二					七	六	七	六					
四八			三	三	八	九	九	八					
二三													
七													
一													
一三													

(10) 屬及技師

計	澎湖	花蓮港	臺東	高雄	臺南	臺中	新竹	臺北	州廳名	州廳屬		市屬	
										(國費)	州廳費	(國費)	市費
六二	一	三	二	九	一	一	七	一					
二二	八	三	六	三	一	一	八	三					
二九	五	一	八	三	五	四	三	四					
八六	二	四	三	一	一	一	一	一					
一六	三	五	四	三	一	二	二	二					
一九	二	一	一	二	二	二	一	二					
一九													
六七	三	三	三	一	四	一	一	一					
二五	六	二	一	四	四	四	四	四					
六二	一	三	三	一	一	一	九	九					
四七		一	一	七	一	九	六	九					
四六		四		八	八	八	四	一					
一二		四	四	二	二	七	一	二					
二三				五	三	四	二	七					

(参照)

各州廳ニ於ケル河川監視ノ定員ニ關スル件

昭和十七年
訓令第百十四號

昭和十二年訓令第七十八號ハ臺灣總督府地方官官制第三十七條ノ二ノ規定ニ依ル各州廳ニ於ケル河川監視ノ定員ノ左ノ通改正ス

臺北州	五人
新竹州	四人
臺中州	六人
臺南州	四人
高雄州	六人
臺東廳	二人
花蓮港廳	二人